

平成 28 年度第 1 回理事会議事録 要旨 (20160913)

1、 平成 28 年 5 月 14 日 (土) 午後 1 時 00 分～午後 5 時 40 分

2、 場所 岸記念体育会館 4F 特別室

3、 出席者

理事総数 22 名 出席理事 18 名

代表理事 横田 努

理事 寺本祐治、宮野正喜、山口修一郎、瀧上正史、今庄充世、千野雅人、
中村真理、穴田直樹、奥田好廣、山野秀一、宮田知、織井隆司、
高井通昌、馬場治男、近藤聡史、濱田清二、中村康夫

監事 二島豊太、田中誠

欠席理事 古賀久義、安西浩哉、井上貴志、林勇次

4、 議長 横田 努

5、 審議事項

- ①平成 27 年度事業報告
- ②平成 27 年度決算報告
- ③平成 28 年度予算
- ④日本代表選手肖像権使用に関する方針
- ⑤JHA ビジョン
- ⑥契約遵守の件
- ⑦定款細則の件
- ⑧役員選任の件
- ⑨定期総会開催の件
- ⑩リオ五輪選手発表記者会見
- ⑪リオ五輪壮行試合
- ⑫リオ五輪壮行会
- ⑬東京ホッケー協会
- ⑭平成 28 年度 JOC 専任コーチ等件

6、 報告事項

- ①愛知県ホッケー協会の件
- ②平成 28 年度国内競技会日程の件
- ③スポスタの件
- ④その他

7、 議事の経過の要領及びその結果

定刻、会長が着席。事務局長が開会を宣言した。

事務局長が本理事会は定款 39 条の規程に定める定足数を満たしているので、適法に成立した事を宣言した。議事録作成人に事務局南條、議事録署名人に宮田理事、田中誠監事を選出、次の議案審議に入った。

<審議項目>

① 平成 27 年事業報告

各委員会委員長より平成 27 年事業報告に各委員会の関連する事項について説明があった。

特に意見は無く、理事会は第 1 号議案平成 27 年事業報告について賛否を諮り、賛成 18 名、反対 0 名でこれを承認した。

② 平成 27 年度決算報告

瀧上総務委員長より平成 27 年度決算報告について説明があった。

- ・ JOC 等からの補助金は予算通り入金された。
- ・ スポンサーである SONY の寄付金は平成 27 年で使用せず、平成 28 年に繰り越している。
- ・ 支出の部 2000 万円程度が黒字、SONY1000 万円を含む。実質は 1500 万円の黒字となる。積立金として決算上は計上している。

田中監事より監査報告の説明があった。

- ・ 監査報告書について、任意監査となり、表記が変わってくる。
- ・ 独立を取ったほうが良い。内容で特段指摘すべき事項はない。
- ・ 決算内容で開示すべき事項は出したほうが良い。

特に意見は無く、理事会は第 2 号議案平成 27 年度決算報告について賛否を諮り、賛成 18 名、反対 0 名でこれを承認した。

③ 平成 28 年予算

瀧上総務委員長より平成 27 年度決算報告について説明があった。

- ・ JOC からは一部の補助金しか内示されず、振り込まれていない。
- ・ 70%が内示されている。残り 30%も固いと見込み補正予算化した。
- ・ ターゲットエージは固く読み込める範囲で予算化している。
- ・ 平成 28 年に SONY さんの協賛費を強化費に使いたい。
- ・ 強化費の支出は男女ともに増加させている。
- ・ 赤字 1000 万となっているが、繰越の SONY の 1000 万円を充てる。

理事会は第 3 号議案平成 28 年度予算について賛否を諮り、賛成 18 名、反対 0 名でこれを承認した。

④ 日本代表選手肖像権使用に関する方針

中村事務局長より日本代表選手肖像権使用に関する方針について説明があった。

特に意見は無く、理事会は第 4 号議案日本代表選手肖像権使用に関する方針について賛否を諮り、賛成 18 名、反対 0 名でこれを承認した。

⑤ JHA ビジョン

近藤理事より JHA ビジョンについて説明があった。

- ・ 以下の 5 点に取りまとめた。
 1. ホッケーファミリーの獲得を取り組んでいく。
 2. 組織・収益基盤の強化・確立
 3. ホッケーに係わる人の論理レベル向上
 4. 国際的地位の向上、発言力強化

5. オリンピックでメダルを取る環境整備を行う。

質疑の結果、理事会は第5号議案JHAビジョンについて、1.ホッケーファミリーの獲得を取り組んでいく、2.ホッケーに係わる人の論理レベル向上の2点のみ、総会における報告事項とすることを諮り、賛成16名、保留1名、反対1名でこれを承認した。

⑥ 契約遵守の件

中村事務局長より契約遵守について説明があった。

- ・代表ユニホームのスポンサー契約において、国際試合で国際ホッケー連盟が承認できないロゴ（漢字）を使用したため、罰金が発生。
- ・ロゴの責任を明確にしたい。
- ・国際ホッケー連盟からのペナルティについては支払わざるを負えない。
- ・広報が責任者として進め、国際部と連携、事務局がチェックする。

質疑の結果、理事会は第6号議案契約遵守について賛否を諮り、賛成18名、反対0名でこれを承認した。

⑦ 定款施行細則の件

総務委員会織井理事より定款施行細則の一部変更について説明があった。

- ・第3条の選出区分の内訳を修正したい。
- ・第31条の決議機関の変更を行いたい。

特に意見は無く、理事会は第7号議案定款施行細則について賛否を諮り、賛成18名、反対0名でこれを承認した。

⑧ 役員選任の件

中村事務局長より役員選任について説明があった。

- ・再任の承認を取りたい。

特に意見は無く、理事会は第8号議案役員選任について理事再任者の賛否を諮り、賛成18名、反対0名でこれを承認した。

引き続き寺本専務理事より新任者について説明があった。

質疑の後、理事会は第8号議案役員選任について理事新任者一人ひとりの賛否を諮り、全ての候補者が賛成18名、反対0名でこれを承認した。

⑨ 定時総会開催の件

中村事務局長より定時総会開催について説明があった。

特に意見は無く、理事会は第9号議案定時総会開催について賛否を諮り、賛成18名、反対0名でこれを承認した。

⑩ リオ五輪選手発表記者会見の件

広報・マーケティング委員長宮野常務理事よりリオ五輪選手発表記者会見について説明があった。

特に意見は無く、理事会は第 10 号議案リオ リンピック選手記者発表について賛否を諮り、賛成 18 名、反対 0 名でこれを承認した。

⑪ リオ五輪壮行試合の件

広報・マーケティング委員長宮野常務理事よりリオ五輪壮行試合について説明があった。

- ・国際親善試合とし、スポンサーの冠大会としたい。
- ・リオ並びに五輪という名称は組織委員会の通達により使用できない。

特に意見は無く、理事会は第 11 号議案国際親善試合について賛否を諮り、賛成 18 名、反対 0 名でこれを承認した。

⑫ リオ五輪壮行会の件

広報・マーケティング副委員長高井常務理事よりリオ五輪壮行会について説明があった。

- ・選手団並びに相馬知恵子審判員も含んで行いたい。
- ・高円宮家と相談しながらマスコミ対応を図りたい。

質疑の後、理事会は第 12 号議案リオ五輪壮行会について賛否を諮り、賛成 18 名、反対 0 名でこれを承認した。

⑬ 東京ホッケー協会の件

中村事務局長より東京ホッケー協会の問題について説明があった。

- ・任意団体「東京ホッケー協会」を日本ホッケー協会が認めた、東京都におけるホッケー競技を統括する団体と認め、正会員を選出する母体とする。
- ・文書にて一般社団法人東京ホッケー協会に回答し、公益財団法人東京都体育協会に公式見解として提出したい。

特に意見は無く、理事会は第 13 号議案東京ホッケー協会について賛否を諮り、賛成 18 名、反対 0 名でこれを承認した。

⑭ 専任コーチ謝金の件

中村事務局長より専任コーチ謝金について説明があった。

特に意見は無く、理事会は第 14 号議案専任コーチ謝金について賛否を諮り、賛成 18 名、反対 0 名でこれを承認した。

8、報告事項

①愛知県ホッケー協会の件

愛知県ホッケー協会が一般社団法人となると報告を受けた。今後、社員の推薦母体となっている協会であるため、確認していく必要がある。

②平成 28 年度国内競技日程の件

男子全日本選手権の日程変更に伴い、NHK放映が女子に変わる。

③スポスタの件

今後高井理事を中心として進めていく。

9、その他

- ・日本ホッケー協会としてリオ五輪視察について検討していく。
- ・女子日本代表応援Tシャツをホッケー日本リーグ機構で作成する。

次回理事会は総会終了後となる。

以上をもって、議事の全ての審議・報告を終了したので、議長は午後 5 時 40 分、閉会を宣言した。